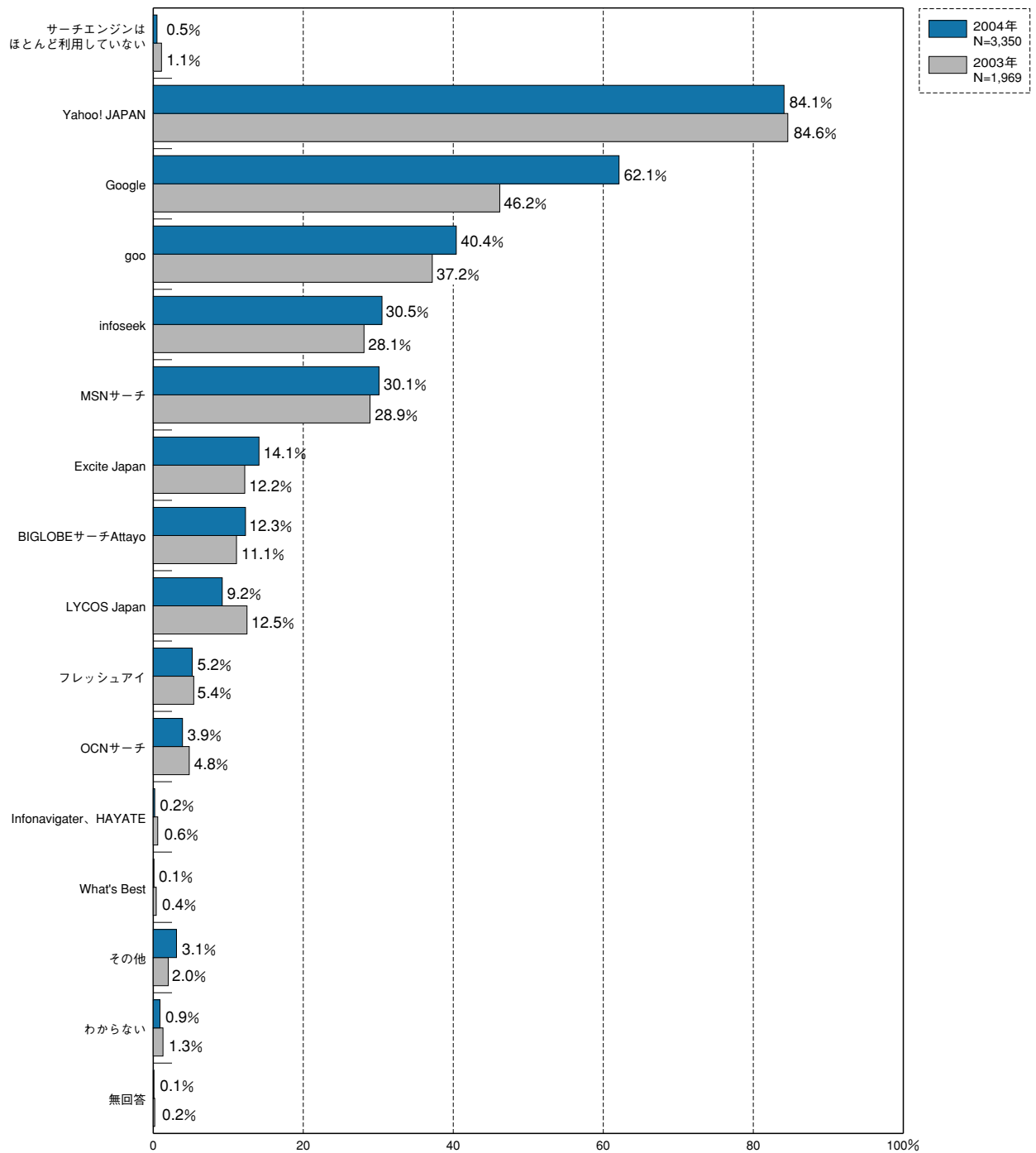


【サーチエンジン】

Yahoo! JAPANは81.4%で依然トップ、Googleも利用を伸ばし62.1%

資料2-6-6 利用している検索サービス (2003年-2004年)



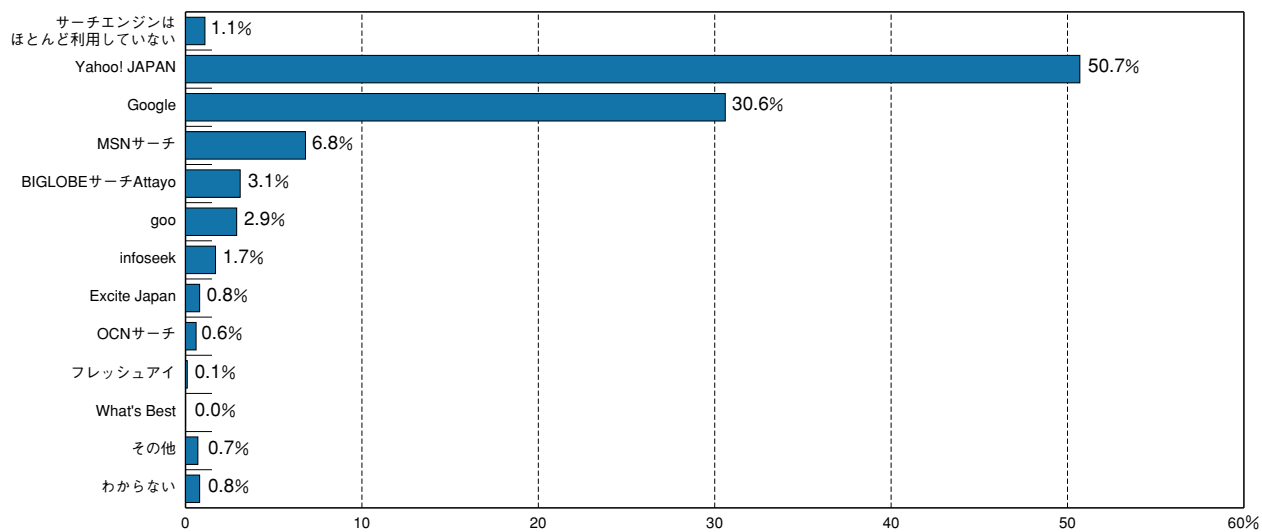
©Access Media/impress,2004

利用している検索サービスは、「Yahoo! JAPAN」が最も多く昨年と同様の結果となっている。「Google」は昨年と比較すると利用率を伸ばし、62.1%となっている。「Google」に関しては、Yahooを含む多数の検索サイトや企業サイトにサーチエンジン技術を提供しており、Googleとは認識せずに利用しているユーザーも多いと推測される。性別では男性が複数の検索サービスを利用している。

検索エンジン

単数回答でも約半数がYahoo! JAPANを利用

資料2-6-7 最もよく使う検索サービス N=3,350

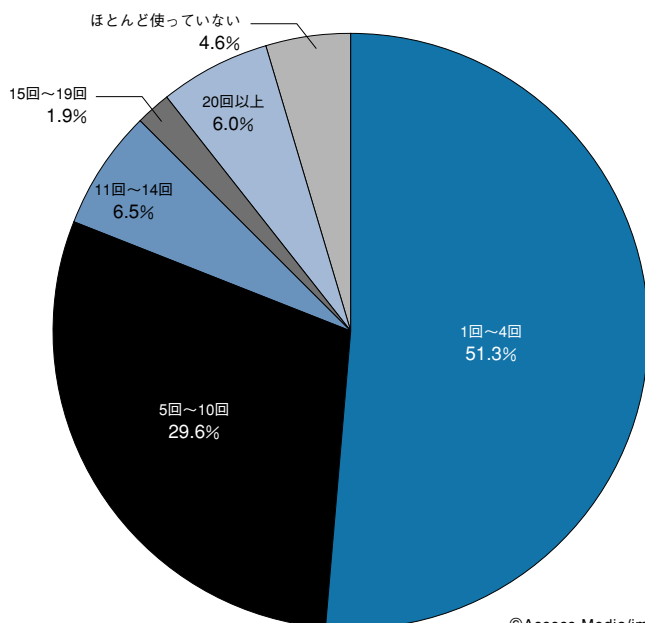


最もよく利用する検索サービスサイトも「Yahoo! JAPAN」、次いで「Google」で複数回答と同様の結果である。

性別では「Google」利用率は男性が37.0%と女性を上回っている。3位以降は、複数回答から順位の変化が見られ、「MSNサーチ」が3位に浮上し、「BIGLOBEサーチAttayo」、「goo」の順位となっている。

情報検索は約8割が1日当たり10回以下の利用

資料2-6-8 検索エンジンの利用頻度 N=3,314



検索エンジンを利用している3,314サンプルを対象に、1日に当たりの平均利用回数を聞いた結果である。「1回～4回」が過半数を占め主流であるが、「5回～10回」も3割と、決まったサイトを見るのではなく、情報検索を必ず1日数回行っている人が大部分を占める。利用頻度が高い職種は、コンピュータ関連、サービス職、調査・マーケティングなど情報収集が大事な役割を担う職種に従事するユーザーである。



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp